

## 暴力防止について考えよう

### (1) 本時のねらい

- ・暴力が与える悪影響を知り、暴力を止める方法を考えることを通して、自分をコントロールする力を身につける。
- ・話し合い活動の中で自分以外の様々な考えに触れることを通して規範意識を高める。
- ・自分の考えを発表したり相手の考えを聞いたりというコミュニケーション活動を通し、人間関係を調整する力を高める。

### (2) 展開（1時間扱い）

<事前指導> 暴力に関わるアンケート実施（実態把握）

<本時>

時間	過程	学習活動 予想される生徒の反応	教師の役割		指導上の留意点
			T1（教師）	T2（少年補導員）	
10	導入	1 本時の学習のめあてを知り、本時の学習に対する意欲をもつ。 校内暴力について考えていくことを知る。 暴力行為は犯罪であることを確認する。	少年補導員を紹介する。 暴力行為のうちの校内暴力について考えていくことを伝える。	自己紹介をする。 校内暴力の例を紹介し、暴力行為は犯罪であることを強調する。	紹介は簡潔に行い、本時の学習に対する意欲付けに重点を置く。 校内暴力を生徒間暴力、対教師暴力、器物破損に分類して考えていく。
25	展開	2 暴力が与える悪影響を考える	活動方法を説明する。		T1、T2は教室を回り、個々の活動やグループの活動を支援する。
		<p>&lt;発問1&gt; 「暴力を振るうと、暴力を振るった人、振るわれた人はどうなるでしょう。」</p> <p>&lt;活動方法&gt; 具体的な進め方は活動例3（後述）を参照 暴力を振るうとどうなるかを、項目（「加害者」「被害者」、「殴ったり悪口を言ったりした場合」「物を壊した場合」）ごとに考える。 グループの中で考えを発表し合い、項目ごとにグループの意見としてまとめる。 グループの意見を発表する。</p>			
		3 教師や少年補導員の話から、暴力行為が与える悪影響を確認する。	発表の司会進行をする。 暴力行為が与える影響について教師の経験を基に話す。	発表された意見を黒板にまとめる。 暴力行為が与える影響について少年補導員の経験を基に話す。	話し合いに慣れていないようであれば、司会者用メモ3（後述）を活用する。
15	まとめ	4 暴力を止める方法を考える。	活動方法を説明する。		T1、T2は教室を回り、個々の活動を支援する。
		<p>&lt;発問2&gt; 「暴力を止めるにはどうすればいいかを考えよう。」</p> <p>&lt;活動方法&gt; 暴力を止めるにはどうすればいいかを被害者や加害者などの立場で考え、ワークシートに記入する。 自分の意見を発表する。</p>			
		5 「自分をコントロールする力」を身に付けていく意欲をもつ。 6 本時の感想を書く。	発表の司会進行をする。 自分をコントロールする力の大切さを話す。 生徒の感想を紹介する。	発表された意見を黒板にまとめる。 暴力を止める方法を経験を基に紹介する。	大人（親や先生）に相談することの大切さも伝える。

<事後指導> 授業の感想等を学級掲示するなどして生徒が様々な考えに触れることができる工夫をする。

### 活動例 3

< 発問 1 > 「暴力を振るうと、暴力を振るった人、振るわれた人はどうなるでしょう。」

#### < 活動方法 >

暴力行為をするとどうなるかを、ワークシートの項目（「加害者」「被害者」・「殴ったり悪口を言ったりした場合」「物を壊した場合」）ごとにできるだけたくさん考え、自分の考えを付箋紙に書いてワークシートに貼る。

グループ用のワークシートはA3程度に拡大しておくが良い。

グループ（4人程度）になり、それぞれの考えを発表し合い、グループ用の用紙にまとめる。

グループ用のワークシートに貼られた項目ごとの意見の中で最も“深刻だ”“ひどい”と思えるものをグループ内で話し合いながらそれぞれ1つずつ選ぶ。

グループの意見を発表する。同じ意見が出たら挙手で示す。

#### 注意事項

- ・グループでの話し合いを進めるには司会者が必要である。グループ活動に入る前に司会者を呼び話し合いの進め方を説明する。この際、司会者に話し合いの進め方を示した「司会者用メモ」（後述）を渡しておくが良い。
- ・が早く終了したグループには、黒板貼付用の紙を渡し、グループの意見を書かせておくが良い。
- ・の活動は、話し合い活動を活性化させるのに良い。

### 司会者用メモ 3

～話し合いの進め方～

#### 1 話し合いの手順を説明する。

（例）「今からグループの話し合いを始めます。話し合いは、まずそれぞれの項目ごとに付箋紙に書いた考えを発表してもらいます。すべての発表が終わったら、それぞれの項目ごとに“これが一番深刻だ・ひどい”と思えるものを一つずつ選んでいきます。」

#### 2 グループ内のそれぞれの人に、付箋紙に書いた考えを発表してもらう。

（例）「では、最初に“殴ったり悪口を言ったりした場合”について考えていきます。まず、加害者はどうなるかを発表してください。くん（さん）お願いします。・・・次に、被害者はどうなるかを発表してください。くん（さん）お願いします。・・・では、次に“物を壊した場合”について考えていきます。加害者はどうなるかを発表してください。くん（さん）お願いします。・・・次に、被害者はどうなるかを発表してください。くん（さん）お願いします。・・・」

発表が終わった付箋紙はグループ用のワークシートに貼り直す。

#### 3 項目ごとに深刻だ・ひどいと思うものを選ぶ。

（例）「では、それぞれの項目ごとに一番深刻だ・ひどいと思うものを決めていきます。“殴ったり悪口を言った場合”の“加害者”の項目ではどれが一番大きな影響だと思いますか。」

同じように“殴ったり悪口を言ったりした場合”の“被害者”、“物を壊した場合”の“加害者”、“物を壊した場合”の“被害者”それぞれの項目ごとに一番大きな影響を決める。

一番大きな影響と思えるものに赤ペンで印をつける。

3までの活動が終わっても時間があったら、先生から紙をもらいそれぞれの項目ごとに選んだものを紙に書く。

暴力行為に関するアンケート

( ) 学年 男 女

1 あなたは小学校時代を含めて、友達から「暴力を振るわれた」ことがありますか。

ア ある イ ない

「ある」の人に聞きます。暴力を振るわれたのはいつ頃のことですか。あてはまる学年に をつけてください。(複数可)

小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1

なぜ暴力を振るわれたのだと思いますか。(わからない場合は「わからない」と記入して下さい)

そのときどんな気持ちでしたか。

2 あなたは小学校時代を含めて、友達に「暴力を振るった」ことがありますか。

ア ある イ ない

「ある」の人に聞きます。暴力を振るったのはいつ頃のことですか。あてはまる学年に をつけてください。(複数可)

小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1

なぜ暴力を振るったのですか。(わからない場合は「わからない」と記入して下さい)

そのときどんな気持ちでしたか。

3 あなたが友達から暴力を受けた場合、誰かに相談しますか。

ア 友達に相談する                      イ 親に相談する                      ウ 先生に相談する  
エ 誰にも相談しない                      オ その他( )

4 あなたは友達が暴力を振るわれているのを見たときに、注意したり止めたりできますか。

ア できる      イ できない

5 新聞やニュースでは毎日のように暴力事件が報道されています。暴力事件はなぜ起きるのだと思いますか。(わからない場合は「わからない」と記入して下さい)

6 あなたは暴力を振るう人をどう思いますか。

7 暴力事件をなくしていくには、どうしたらいいと思いますか。(わからない場合は「わからない」と記入して下さい)

# 暴力について考えよう

氏名 \_\_\_\_\_

Q 1

	加害者	被害者
殴ったり悪口を言ったりした場合		
物を壊した場合		

Q 2

	暴力を止めるにはどうすればいいだろう？
あなたがもし暴力を振るわれる立場の人だとしたら、どのようにして止める？	
あなたがもし暴力を振るう立場の人だとしたら、どのようにして止める？	
暴力を振っている場面を見たら、どのようにして止める？	
その他の止める方法	

< 授業を終えて >

暴力について考えよう ( )班

	暴力を振るった人	暴力を振るわれた人
殴ったり悪口を言ったりした場合		
物を壊した場合		